

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアヘッドクォーター特区 (東京都)	4.8	5 進捗度 ・外国企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 100% ・外国企業と都内企業との引き合わせ件数 122% ・金融系外国企業の誘致数 125% ・外国企業からの相談件数 220%	4.1 規制の特例等 ・ビジネスジェットの利用 手続簡略化 等 財政支援等 ・総合特区支援利子補給金 地域独自の取組 ・アジアヘッドクォーター特区拠点設立補助金 ・ビジネス コンシェルジュ事業 等	5	・誘致候補となる外国企業を丁寧に絞り込んで直接アプローチし、戦略的に誘致を進めていることが成果として現れている。 ・誘致した外国企業に対する具体的なマッチングニーズの聞き取りや商談会など、都内企業との引き合わせの環境づくりを整えている。 ・金融、手続代行、法律専門サービスなど様々な支援のためのワンストップサービスのケアを丁寧に行っている。 ・実績としては十分といえる。東京の枠組みを超えた更なる発展を期待したいと思う。

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区 (神奈川県、横浜市、川崎市)	4.5	4.5 進捗度 ・特区事業の実施によるライフイノベーション分野における経済効果 161% ・個別化・予防医療及び未病改善などを実現するためのデータサイエンスの活用等に取り組む事業数 100% ・医薬品・医療機器・再生医療等製品等の早期実用化に向けた取組 件数 102% 等	4 財政支援等 ・地域イノベーション・エコシステム形成プログラム ・総合特区設備等投資促進税制等 地域独自の取組 ・企業誘致促進補助金 等	4.7	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進の課題解決への産業集積を達成するため、基盤となる投資と、人材育成、データサイエンス、国際共同治験、製品化・事業化という具体的な活動指標を関連付けた目標達成への考え方や取組はわかりやすく、戦略的、体系的な取組をおこなっていることが評価される。データサイエンスの利活用を進めるためにも、データサイエンス人材育成の更なる取組に期待したい。 前年度に引き続き、十分な実績をあげていると思われる。 十分な実績が継続的に見られると評価できる。

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
関西イノベーション国際戦略総合特区 (京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)	4.5	4.8 進捗度 ・研究段階(入口)における効果 128% ・承認審査段階(中間)における効果 106% ・製品化・実用化(出口)における効果 124% 等	4.2 規制の特例等 ・スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備 等 財政支援等 ・国際総合特区設備等投資促進税制 等 地域独自の取組 ・次世代地域産業推進事業 等	4.5	・スマートライフ、スマートエネルギー等を軸に、KICK等でのイノベーションプラットフォーム機能を活かした国際競争力強化への取組が評価される。継続して多くの規制特例や、財政・税制・金融支援を適用し、イノベーション創出を支える基盤づくりを着実に積み上げている。車載用蓄電池の導入推進にあわせて、PPA事業等も含めた市場拡大など、定置型蓄電池の戦略的な推進に期待したい。 ・設定された各目標に対して十分な成果が得られていると思う。

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
グリーンアジア国際戦略総合特区 (福岡県、北九州市、福岡市)	4	3.5 進捗度 ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高70% ・特区に係る支援措置を活用して設備投資を行った企業数85%	4.1 規制の特例等 ・圧縮水素運送自動車複合容器・附属品に対する刻印方式の特例の創設等 財政支援等 ・総合特区推進調整費 ・総合特区設備等投資促進税制等 地域独自の取組 ・グリーンアジア国際戦略総合特区中小企業設備投資促進補助金等	4.2	<p>・半導体不足や海外部品調達難などの外部要因による影響を受けつつも、国や地域独自の支援措置を積極的に活用して企業の設備投資を推進し、新規雇用創出にもつなげ、アジアに向けたグリーンイノベーション拠点形成に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・動脈、静脈両方にわたるグリーンイノベーションを主導する産業拠点形成に取り組んでいる特徴を活かすため、更なるサプライチェーン強靱化への取組に期待したい。</p> <p>・COVID-19の影響が続いている状況の中では、一定の成果も得られているように思われる。 ・ある程度の進捗は見られる。特に地域独自の取組は積極的と言える。</p>

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
つくば国際戦略総合特区 (茨城県、つくば市、国立大学法人筑波大学)	3.9	4 進捗度 ・連携企業数 128% ・事業・産業創出 (起業、ライセンス アウト、製品化 等) 50% ・事業化に伴う株 式公開(IPO)件 数 100%	3.7 規制の特例等 ・搭乗型移動 支援ロボットの 規制緩和 等 地域独自の取組 ・ロボットスーツ 治験事業 等	4	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標として掲げた共同研究契約等に基づく連携企業数が目標を上回る実績で推移しており、つくばテクニカルコンシェルジュ(TTC)の技術相談のワンストップ窓口などによる産学官連携の取組の成果が表れている。 ・時間軸も含めて、研究段階での企業連携から起業、ライセンスアウト、製品化へどうつなげるかが課題かと思われる。 ・BNCTは注目されている治療技術にて、今後の研究の推進を期待する。 ・TIAの仕組みは他機関においても参考になるものであり、普及に向けての可能性について検討を期待する。 ・藻類バイオマスエネルギーの実用化が国の研究事業に採択されたことは有意義であり、今後の目標値への寄与を踏まえ、これらのフラグシップ的な取組の進展に期待したい。 ・比較的良好結果を出していると言える。

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 (愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県、名古屋市等)	3.5	<p>進捗度</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地域における航空宇宙関連輸出額 44% 中部地域における航空宇宙関連の工場等の新増設件数 200% 等 	<ul style="list-style-type: none"> 規制の特例等 工場等新増設促進事業 等 財政支援等 総合特区設備等投資促進税制 総合特区支援助利子補給金 等 地域独自の取組 21世紀高度先端産業立地補助金 等 	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 全体の進捗はCOVID-19の影響もあったかと考えられるが、それ以外は順調と思われる。 足元の回復策とあわせて、今後は、DX活用、脱炭素などポストコロナの環境変化を踏まえ、新たな持続成長の足がかりとなるような取組にも期待したい。 厳しい状況の中で一定の成果はあげられていると思われるが、同時に今後のアクティビティ改善にも期待したい。